



山梨市長選2氏が公開討論

産業振興策で論戦

26日告示される山梨市長選に立候補を表明している現職の竹越久高(67)、前県議の望月清賢(66)両氏の公開討論会(山梨青年会議所主催)が22日、山梨市民会館で開かれた。



市政のビジョンなどを語る望月清賢氏(左)と竹越久高氏―山梨市民会館

の竹越久高(67)、前県議の望月清賢(66)両氏の公開討論会(山梨青年会議所主催)が22日、山梨市民会館で開かれた。地域産業の振興策について、竹越氏は空き店舗の活用、望月氏はインフラ整備に重点を置く考えを示した。

山梨学院大の江藤俊昭教授がコーディネーターを務め、



長田 和之
野口 健介

(0553)22-0339, 7603
FAX 23-2158

竹越、望月両氏が質問に答えた。産業振興について、観光と農業を軸とする点で両氏は一致した。

ただ、手法については、竹越氏が「空き店舗や空き工場を活用して、個人や企業の誘致による活性化を図りたい」と強調。望月氏は「市街地整備や中央道からのアクセス向上などインフラ整備でにぎわいの創出を図りたい」と述べ、見解が分かれた。

望月氏が「現市政はビジョンや基本方針がはっきり見えない」と批判したのに対し、竹越氏が自民党県連から推薦を受ける望月氏について、「市長は中立で特定の政党に偏るべきではない」とやり返す場面もあった。会場には約300人が来場し、両氏の主張に耳を傾けた。

補予定者による公開討論会が22日、同市万力の山梨市民会館大ホールで開かれる。立候補を表明している現職の竹越久高氏(67)と、前県議で新人の望月清賢氏(66)が参加する予定になっている。

討論会は、山梨青年会議所の主催。山梨学院大法学部の江藤俊昭教授が司会を務め、各候補予定者に今後の街づくりの展望などについて質問。一問一答形式で進行する。

午後7時開会。問い合わせは、同青年会議所(0553・22・9655)。

立候補予定者が あす公開討論会

山梨市長選

26日告示、2月2日投開
票される山梨市長選の立候

山梨市長選

立候補予定2氏 あす公開討論会

任期満了に伴い26日告示、
2月2日投開票される山梨市
長選で、山梨青年会議所（石
原健一理事長）は22日午後7
時から、同市民会館で、市長
選立候補予定者の公開討論会
を開く。

立候補を表明している現職
の竹越久高氏（67）と前県議の
望月清賢氏（66）が出席する予
定。公約について意見を交わ
すほか、立候補予定者の人物
像などが分かる、質問などを
予定しているという。コーディネーターは山梨学院大教授
の江藤俊昭氏が務める。

入場無料。問い合わせは同
会議所、電話05553（222）
0505。

26日告示 山梨市長選 2氏討論会

26日告示、2月2日投開
票される山梨市長選の立候
補予定者による公開討論会
が22日、同市万力の山梨市
民会館大ホールで開かれ、
現職で再選を目指す竹越久
高氏（67）と、前県議で新人
の望月清賢氏（66）が、そ
れぞれ持論を展開した。

山梨青年会議所が主催
し、約300人の市民が参
加。討論会は一問一答形式
で進められ、お互いに質問
し合う時間も設けられた。

竹越氏は「安心して出産、
子育てできる環境が大切」
と主張。入院に加え外来医
療費も15歳まで無料化する
ことや、医療費抑制のため
に生活習慣の改善対策に力
を入れるとした。

望月氏は「にぎわいを生
むため、市街地や幹線道路
の整備に取り組み」と強調。
中央道やリニア中間駅とつ
ながる道路を県と連携して
整備することや、果樹産業
の振興に努めると訴えた。

減反廃止など説明会 出席者から不安の声

コメの生産調整（減反）
の廃止など、国の新たな農
業政策の説明会が22日、甲
府市青沼の市総合市民会館
で行われた。農林水産省の
主催で、県や市町村、JA
の関係者ら約250人が出
席した。

会では、農水省の担当者
が政府の新たな農業強化策
「農林水産業・地域の活力創
造プラン」を解説。主食用米
の生産調整を行う農家への

補助金を2014年産米か
ら10㌔当たり7500円に
半減、18年産米からは廃止
することや、分散する小規
模農地や耕作放棄地などを
借り上げ、大規模農家や企
業などに貸し出す「農地中
間管理機構」を創設するこ
となどの説明があった。

出席者からは「生産調整
の補助金を減額されては困
る」「過剰な作付けが進み、
価格が下がらないようにす
る検証が必要」など、将来を
不安視する意見も聞かれ
た。